

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001378	事業の開始年月日	平成16年11月1日	
		指定年月日	平成16年11月1日	
法人名	有限会社 リラ福祉サービス			
事業所名	こすずめの里			
所在地	(〒244-0044) 横浜市戸塚区小雀町2058-11			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月20日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・四季折々の花々、季節感等、風を肌で感じながらの散歩をゆっくりと個別対応で楽しむことができる。
 ・天気の良い日には、雪化粧の富士山、夕焼けの富士山をホームより眺める事ができる。
 ・身体体操・嚙下体操を朝夕と1日2回、参加を呼び掛けている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成22年3月1日	評価機関 評価決定日	平成22年4月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
 ①平成16年11月に開所した1ユニット、平屋建てのグループホームである。経営は有限会社リラ福祉サービスで、訪問介護・居宅介護支援事業所が併設されている。平成19年11月にグループホームに認知症デイサービス・ショートステイを機能追加し、地域交流の促進に貢献している。JR大船駅からバスで10分程度、バス停から徒歩で7~8分の高台にある。国道1号線の原宿交差点から近いが、梅林や畑が点在し、四季折り折りの自然を楽しみながら散歩の出来る環境にある。また晴れた日には、ホームから富士山が望める。食事に関しては、経営者である代表が管理栄養士の資格を持っており、栄養バランスの考えられたメニューとなっている。また、食事担当の職員が決まっており、介護職員は安心して介護に専心出来る。職員は子育て世代、子育てほぼ修了世代、子育て卒業世代の3世代が自分の生活に合わせた勤務形態でこのホームを支えており、これを実現した経営者の手腕に敬意を表する。建物の周囲には、会長がモモや甘夏などの実なる木や野菜を育てており、入居者と共に収穫を楽しんでいる。6月には原宿に小規模多機能を開所の予定でいる。
 ②スタッフに近所の方が多く、地域との連携は開設当初からスムーズにしている。家族や知り合いの方がボランティアで多数来て下さり、手話サークル・踊り・ハワイアン・語り部・サクソフォンの演奏・また手作りのオカリナを携えて演奏に来て下さる方等、地域との交流が盛んである。その際、近隣の方もお誘いし、一緒に楽しんで頂いている。散歩の道筋には、入居者の方達に楽しんで頂けるようにとの配慮から、近所の方が花等を植えて下さる等、嬉しい報告もある。近隣の方からホームの方々の笑顔が私達の生きがい、笑顔が励みになると云って頂き、スタッフも感激した。これこそ地域密着の姿だと思う。
 ③ケアについては職員達は、自分の親が認知症と診断されたら、「個人を大切にし、人生の先輩としての尊厳を遵守してくれる」このホームに入所させたいと心から思っている。スタッフ同士が同じ思いを共有し、同じ方向性で仕事に取り組むシステムがここにはある。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	こすずめの里
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者とスタッフは日々の実践の中で個々の認識が共有につながっている。	運営理念は、事業所の立ち上げの時に、代表者含めスタッフ皆で話し合って決めたものであり、「認知症があっても普通に人生を全う出来る様」との思いから、作り上げている。管理者とスタッフは日々の実践の中で個々の認識が共有につながっている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域ボランティアグループの方の歌の会、オカリナ演奏の披露を下さり、一緒に歌を楽しんでいる。自治会に加入し地域行事（ゴミ拾い）は必ず参加している。	自治会に加入しており、地域の行事には参加し、事業所の行事にも参加して頂く等、良い関係性が出来ている。地域ボランティアグループの方の歌の会、オカリナ演奏の披露を下さり、一緒に歌を楽しんでいる。自治会に加入し地域行事（ゴミ拾い）は必ず参加している。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩時等、近隣の方々に積極的に声をかけ利用者様との交流を支援している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2月に開催 偶数月に年に6回を予定している。 活発な意見交換が出来、理解しあえる場としてサービス向上に繋げるように努力している。	今年は年6回の計画を組んでおり、去る2月に開催した。偶数月での開催を予定している。メンバーは自治会役員、民生委員、ご家族、地域包括支援センターの方、それにホーム関係者である。活発な意見交換が出来、理解し合える場としてサービス向上に繋げるように努力している。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	戸塚区高齢支援担当者・原宿地域包括支援センター・横浜市健康福祉局高齢施設課等とは、連携があり、サービス向上に取り組んでいる。	戸塚区高齢支援担当者・原宿地域包括支援センター・横浜市健康福祉局高齢施設課等とは、連携があり、サービス向上に取り組んでいる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	移動時・散歩時には、危険防止の為、車椅子のベルトはするが、停止した時等ベルトは外す。玄関の施錠は閉めてはいない。	移動時・散歩時には、危険防止の為、車椅子のベルトはするが、停止した時等ベルトは外すようにしている。玄関の施錠は閉めてはいない。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修の機会を持ち、認識を高め防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会を持ち、認識を高めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、不安や疑問点を持たないよう十分な配慮をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来里された時等、近況報告と共に意見・要望等、気軽に話せるような環境作りを心掛け対応させていただき意見箱を用意している。	毎月1回、生活記録や受診報告と個人の生活状況が書かれた「こすずめ便り」と共に、金銭報告も郵送されている。ご家族の来訪時等、近況報告と共に意見・要望等、気軽に話せるような環境作りを心掛け対応している。意見箱も用意している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	有限会社ではあるがワーカーズコレクティブに近い運営で集会は設定していないが折に触れて問いかけて反映させている。	有限会社ではあるがワーカーズコレクティブに近い運営で、集会は設定していないが折に触れて問いかけて反映させている。市や県主催の研修に参加し、ミニカンファレンスで報告の機会を持っている。また、ケアマネージャーや介護福祉士の受験者にはシフト上の便宜を計っている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	開設より社会労務士法人エールと契約し労働環境を整えている。 処遇改善交付金一部もこれにあてている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	「主婦が階段を昇れる職業である」と言い続けている（3年→介護福祉士 5年→ケアマネジャー・社会福祉士等）研修参加は申し出により自主性を重んじ強要はしていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会、区のグループホーム集会等参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ゆっくと時間をかけ話を聞き、耳を傾け利用者様の安心を確保する努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	時間の制限を設けず気軽にいつでも出入りできる環境作りに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	カウンセリングの勉強をし初期対応の見極めができるよう努力している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は過去の生活記録を共有し人生の先輩として接している。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	認知症が進んだり体調が悪い日が続く居室にいる時間が長くなると周辺症状がでてくる、3:1の介護では完全な対応にならない場合がある、家族の支援があると助かるが返って本人は混乱し、夜徘徊が始まったりするがホームとして本人と家族の絆を大切にすることを優先している。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	若い頃からのサークル等の友人から手紙や電話等、途切れることのないよう、支援に努めている。	若い頃からのサークル等の友人から手紙や電話等、途切れることのないよう、支援に努めている。ここを第2の我が家として近隣の方とのお付き合いを大切にし、地域の1員となれるよう支援している。近隣の方からホームの方々の笑顔が私達の生きがい、笑顔が励みになると云って頂き、スタッフも感激した。これこそ地域密着の姿である。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り、交流を支援するよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ相談を受けている。経済的な理由等で終了した方は安否確認したい衝動に駆られるが配慮して我慢している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時より、ご自分の馴染みの家具・観葉植物などを持ち込まれている等意向の把握に努めている。	本人が望む過ごし方、家族の望む過ごし方を把握し、支援している。入居者の方の生活歴から、お一人お一人の得意なことを把握し、魚をおろしたり、一緒にママレード作りをしたり、編み物をして頂いたり、支えあう関係性を作れるよう、努めている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報の共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	情報の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、職員スタッフと話し合い、意見や、アイデアを出し合いながら、現状に即した介護計画を作成し、月に一度モニタリングを実施している。	スタッフで意見やアイデアを出し、本人や家族とも相談しながらより良いケアプランを作成するよう努めている。1ヶ月ごとにモニタリングを行い、ご本人・ご家族・スタッフで意見を交換しながら、現状に応じたケアプランを作成している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を毎日記入し、日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を記入している、職員間で情報を共有しながら実践や、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ショートステイ、デイサービス等を含め、家族や利用者合ったサービスを心掛けている（世話をしている方の怪我や病気等の事情を考慮し、柔軟な対応をしている）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣に元消防署長、電気工事の専門家、音楽愛好家等が居住し支援がある。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	福祉施設専門の「湘南クリニック」から2週間に一度訪問診療があり、緊急時には24時間対応で電話連絡し、対応している。要望があれば訪問歯科もある。	福祉施設専門の「湘南クリニック」から2週間に一度訪問診療があり、緊急時には24時間対応で電話連絡し、対応している。要望があれば訪問歯科もある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護スタッフは朝の申し送り時や日々の関わりの中での気づきを看護師に伝え、相談している、又看護師も健康状態を本人やスタッフに確認しながら、適切な受診や、看護を個々受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院いた際、安心して治療していただき、病院関係者や家族と情報交換や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、本人、家族と繰り返し話し合いを行い、出来ることを十分に説明しながら方針を共有しチームで支援している。	主治医、ご本人、ご家族と繰り返し話し合いを行い、出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、チームで支援している。重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階からご本人・ご家族等と話し合いを行なうようにしている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	戸塚消防署より来ていただき、防災指導を含めAEDの使い方・救命処置の仕方（搬送法・止血法等）を利用者様と一緒に参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者様、職員共に3カ月に一度の避難訓練を実施している。消防署長されていた方が地域にいらして、協力をお願いしている。	ご利用者、職員共に3カ月に一度の避難訓練を実施している。隣人の元消防署長の方に消火器の使い方を教えて頂き、3ヶ月に一度、ご利用者とスタッフ共に避難訓練を実施している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の歴史に添い言葉づかいに気をつけている。	「一人ひとりの歴史に添えるよう黒子に徹する」をモットーに、ケアをするよう心掛けている。言葉遣いに気をつけている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思を表しにくい利用者様には手を握り、ご本が意思を伝えやすいよう、選択が出来るような話しかけを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	読書・編み物等一人一人のペースを大切に支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗髪後、居室にて髪を巻いたり、髪染めを希望される時等ご本の意向を配慮し、髪染液・化粧水等一緒に買い物へ出かける等支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・片付け等一人一人出来ることを手伝って頂いている。	ホームの庭で実った夏みかんでママレードを作ったり、誕生会のケーキも一緒に手作りしたりと、楽しみながら関わられるよう心掛けている。食事の準備や片付けも、出来るだけ皆が関わられるような見守りをしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取、各自の希望に添って（量・好み等）応じている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後の口腔ケアに重点を置き、各自の状態に合わせたケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声かけをし、トイレでの排泄に力を入れている。	お声かけをし、トイレでの排泄に力を入れて自立支援を行なっている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操、トイレでの排泄の習慣を心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	髪染め、便失禁等の対応は出来るようになってきている。	髪染め、便失禁等の対応は出来るようになってきている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	足を延ばすことを望まれる方等気軽に声をかけて下さり対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	リーダーは服薬管理をしており、効果、効能、用途等各自の服薬説明書はスタッフが分かるようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の力を生かした食事作り、手作りおやつ等の支援心掛けている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見・散策・買い物等スタッフと一緒に出かける。ご家族と外出・外泊を楽しまれることもある。	花見・散策・買い物等スタッフと一緒に出かけ支援に努めている。また、ご家族と外出・外泊を楽しまれることもある。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物等、一緒に出かけ精算をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を始め、手紙を投函する時等散歩をしながら出かける。家族、友人からの電話の取り次ぎを支援している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節の花を飾り、食堂の壁には利用者様と一緒に作製した季節ごとの飾りをし、庭で採れる食材等季節感を味わっていただく工夫をしている。	玄関に季節の花を飾り、食堂の壁にはご利用者と一緒に作製した季節ごとの飾りつけを行い、庭で採れる食材等で季節感を味わって頂く工夫をしている。各自の椅子があり、テーブルは、皆の顔が見えるように工夫している。	今後の継続	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士の席順等工夫している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた家具を持ち込み居心地良く暮らせる様工夫している。	ご本人の使い慣れた家具を持ち込んで頂き、居心地良く暮らせる様に工夫している。ご家族が居室の壁飾り・カーテン・ソファー・鉢花等を工夫されている。	今後の継続	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、洗面所、浴室など手すりを使用している。			

目 標 達 成 計 画

事業所

こすずめの里

作成日

平成22年2月15日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催回数	偶数月年6回を予定	前回皆様に話をし理解を得た	一年間
2	9	利用者様の思いや意向の把握をより深く理解する	スタッフ各自の利用者様へのケアの振返りと目的意識の再確認	スタッフに利用者様の思いや意向の把握についてのアンケートを取りスタッフの理解度を高める	一年間
					2010/4/20

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。